

お知らせ

アートイン
Art in Nagahama 2011

25th Anniversary
since 1987

テーマ
「アートのチカラ」

ナガハマ
長浜芸術版楽市楽座

全国から集まった芸術家たちが、オリジナル作品を展示・実演・販売します。市街地を散策しながら芸術にふれ、作家との交流を楽しみましょう。

【と き】10月1日（土）10時～17時、2日（日）10時～16時

【ところ】長浜市中心市街地

第25回 特別企画

1. 「葛 皓（かつら ひろし）展」
2. AIN×AID（アインエイド）チャリティーポストカード展
3. 書のアートライブ
4. 筆ペンで描くかんたんスケッチ講座
5. アート豆本展



問 長浜芸術版楽市楽座運営委員会事務局NPO法人ギャラリーシティ楽座（☎65-0393）

今年で25回目を迎えるアートインナガハマ。スタート当初から携わっておられる北村恒一さんに、これまでの歩みとアートインナガハマの魅力についてお話を伺いました。



長浜芸術版楽市楽座運営委員会
事務局長 北村 恒一さん

アートのチカラを信じて

25年前の長浜は地場産業である縮緬業界も苦境にあり、商店街も本当に閑散としていました。こんな長浜を元気にできないかという思いから声を掛け合って集まったのが、職種もバラバラのメンバーでした。仕事が終わった後に数十回も集まって議論を重ね、秀吉公が長浜城下に設けた楽市楽座の芸術版をやろうと始めたのが「アートインナガハマ（以下、AIN）」だったんです。

素人の集まりですから準備も遅々として進まず、本当に大変でしたが、当日は全国から300人ものアーティストが集まってくれて、大成功を収めることができました。その経験が、やればできるという自信を持つとともに、少しは市民の間にやる気を生み出すきっかけになったのではと思っています。

1回目が上手いきい、メディアにも多く取り上げられたことで認知度も上がりました。これを2日間だけのイベントにしようのではなくて、長浜を芸術の似合うまちにするべく、4年目にはAINの活動拠点「ギャラリー楽座」をオープンさせました。

AINのいいところは「創り手の顔が見える」ということだと思います。立派な美術館でガラスケースに入った作品を見るのと違って、訪れた人と創り手との間にコミュニケーションが生まれ、作品に込められた思いや、創り手の人柄に触れることができます。そうして手に入れたものは1つ1つが「特別なもの」になるはずですよ。

参加する芸術家にとっても、AINは魅力ある場です。他の参加者からの評価を受けたり、ジャンルの異なる作品を見たりすることで、想像力をより膨らませることができるでしょう。

こうして長浜の秋を彩る恒例行事となったAINですが、今年のテーマは「アートのチカラ」です。今、日本も世界も大きな転機を迎えています。東日本大震災や財政危機など容易には乗り越えられない壁が立ちはだかっているようにも感じます。

そんな中、アートは変わることなく輝きを増し、私たちの心を豊かにしてくれます。アートが持つチカラと可能性を信じ、前に進んでいこうという思いを込めて25回目のアートインナガハマを盛り上げていきたいと思っています。

使用期限迫る！

江・浅井三姉妹博覧会プレミアムお買い物券

【使用期限】平成23年9月19日(月)

※期限が過ぎると使用できませんのでご注意ください。



問 江・浅井三姉妹博覧会プレミアムお買い物券実行委員会事務局
〈長浜商工会議所内〉（☎62-2500）

TOPICS

原子力の安全対策について

今回は、原子力災害についてお知らせします。

原子力発電所では、運転にともない放射性物質が発生しますが、通常は何重にも設けられた安全対策により施設内に封じ込められています。

「原子力災害」とは、安全対策が機能せず、放射性物質が施設外に大量に放出されることで、一般の人々や周辺環境に影響を及ぼすことです。

今回の福島第1原子力発電所の事故も、津波により原子炉の冷却機能に甚大な影響が出たことなどから起こった原子力災害です。

事故などで、放出された放射性物質は、空気と混じって放射性プルーム（放射性雲）となり、風下に流れながら広がり、外部被ばく・内部被ばくの原因となります。



出展：文部科学省HP 環境防災Nネット

外部被ばく

放射性雲（プルーム）から直接、身体に放射線を受けます。

内部被ばく

呼吸や飲食によって体内に放射性物質が入り、その物質からの放射線を受けます。

市では、直近の原子力発電所（敦賀原発）から約13kmに位置していることから、原子力災害が起こったときの体制と対応方法を取りまとめることが急務となっています。

こうしたことから、現在原子力災害に対応するため、対策計画の策定準備を進めています。

放射線被ばくを防ぐ3原則

①（放射線を）遮へい

建物（自宅・避難所）の中に入る。

②（放射線源からの）距離

発生場所からできるだけ遠くに避難する。

③（被ばくする）時間

放射線を浴びる時間を短くする。（屋内に避難）

問 防災危機管理課 原子力安全対策室（☎65-6555）